

学校法人 専修大学 14年度事業計画・予算

2014年度学校法人専修大学の事業計画・予算は、14年3月24日に開催された理事会・評議員会で承認された。

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」のもと、教育・研究活動に取り組みるとともに、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っています。13年度から15年度までの3カ年は、「創立150年に向けた着実なレールを敷くこと」を目指し、「教育・研究力の強化」「競争力のある大学の創造」「学生支援の充実」「ブランド力の強化」「社会・地域貢献活動の充実」「経営基盤の強化」の6項目を重点事業方針として掲げました。14年度事業計画はこの方針に基づき、策定しています。

14年度事業計画

1 教育・研究力の強化

専修大学は、魅力ある教育環境を再構築するべく、神田及び、生田キャンパス整備を推進させます。神田キャンパスでは、旧神田5号館跡地に新設の「神田5号館」を、新たな知の発信拠点として、4月より運用を開始します。生田キャンパスにおいては、国際交流国際交流会館が5月に竣工し、6月より運用を開始します。また、スポーツ施設については生田新体育寮・新体育館(仮称)の建設も進めており、15年1月の竣工を目指しています。さらに、生田3号館跡地等に、大学院、教員研究室等を配置する高層棟とアクティブ・ラーニング機能を有した教育施設等を持つ低層棟の建築を推進し、16年度での完成を目指しています。

一方、教育においては、学士課程教育の質的向上を図るため、4月より新たな学士課程教育を導入します。この新課程は「学び」の基礎を固めるとともに、その後の応用的な学修の道筋を示すことで、学生の主体的な学修を促す。また、大学での学修だけではなく、社会に出てからの「学び」を見据えた、幅広い知識や関心、経験を幅広く含む指針となる。

①新たな学士課程教育の導入
学士課程教育の質的向上を図るため、13年から準備を進めてきた新たな学士課程教育を14年度から導入する。この新課程は「学び」の基礎を固めるとともに、その後の応用的な学修の道筋を示すことで、学生の主体的な学修を促す。また、「教育の質的転換」をさらに推進するために基礎学力テストのあり方及び活用について検討を行う。

②キャリア教育の強化
14年度は、低年次の導入型インターンシップとして「プレインターンシップ」を本格的に提供開始する。また、14年度から専修大学

2 競争力のある大学の創造

「心の連続性を保つ」(私立大学戦略的研究基盤形成後期)を実施する。アンケートの実施は、FD委員会が行い、非常勤講師も対象とする。

①国際経営研究拠点
「メコン地域五カ国域内における現地中小企業の貿易活動の調査」(川崎商工会議所との共同事業)

②東アジア世界史研究拠点
「古代東ユーラシアと来日」「外国人」(学内プロジェクト)

③社会関係資本研究拠点
「アジアにおけるソーシャル・キャピタル(社会関係資本)研究」(学内プロジェクト)

④学外研究費の獲得
14年度大学評価(認証評価)への申請

⑤学外研究費の獲得
14年度大学評価(認証評価)への申請

⑥国際化の進展
国際交流プログラムの充実

3 学生支援の充実

東日本大震災に係る支援
「専修大学」学生のボランティア活動を支援し、「夏期復興支援ボランティア活動」等を継続実施する。

①修学環境の整備
自宅通学支援バスについて、JR仙石線の15年度全線開通を視野に入れ、かつ、在学生の通学実態を勘案しながら、路線の見直しを図る。また、さらなる利便性向上のため、路線バス

4 ブランド力の強化

積極的な知の発信
①企画展示の開催
②公開講座・シンポジウムなどの充実
地域貢献及び地域交流の一環として、「社会知性フォーラム」をはじめとする各種公開講座等の開催、「Journal」の刊行、図書館所蔵資料の展示を実施。

①国際化の進展
国際交流プログラムの充実
留学生との共同生活を通じて異文化理解や国際コミュニケーション力を養うユニバーシティ力を養う

②広報活動の強化
大学ホームページの充実
③情報通信環境の効率化
高度で多様な情報処理

5 社会・地域貢献活動の充実

復興・再生への寄与
①石巻専修大学
②産学連携の強化
③スポーツを通じた児童・生徒の育成支援

①地域への貢献
石巻圏域を中心に教育分野での連携を深め、地域の教育力の向上に貢献する。

②地域との連携強化
石巻圏域を中心に教育分野での連携を深め、地域の教育力の向上に貢献する。

6 経営基盤の強化

健全財政の確保
①寄付金の募集
②学校法人専修大学
③情報通信環境の効率化
高度で多様な情報処理

7 専修大学北海道短期大学に係る対応

必要文章読解力、論理力、英会話能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を総合的に養成する「リーダーシップ基礎力養成プログラム」を新設する。

①就職支援の強化
学生が十分な準備を講じて就職活動に臨むよう、就業意識を醸成させるための支援プログラム(3年次生対象)を、14年度前期から開始する。さらに、就職相談体制の一層の強化を図るとともに、学内で行う企業説明会を多数展開し、企業と学生・卒業生との出会いを創出する。

②能力開発講座の新設
在学中に社会人としての